

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究部門評価委員会評価資料 (平成29、30年)

目 次

研究所概要	(研究所長： 松原 洋一)	(01)
研究所業績	(所長補佐： 斎藤 博久)	(01)
概要資料		
資料(1)	研究所組織図・人事異動	(03)
資料(2)	セミナー開催状況	(11)

【研究部活動報告】

01.	小児血液・腫瘍研究部	(部長： 清河 信敬)	001
02.	分子内分泌研究部	(部長： 深見 真紀)	019
03.	免疫アレルギー・感染研究部	(部長： 松本 健治)	043
04.	成育遺伝研究部	(部長： 小野寺雅史)	071
05.	ゲノム医療研究部	(部長： 要 匡)	089
06.	システム発生・再生医学研究部	(部長： 高田 修治)	105
07.	薬剤治療研究部	(部長： 田上 昭人)	119
08.	周産期病態研究部	(部長： 秦 健一郎)	133
09.	社会医学研究部	(室長： 浦山ケビン)	161
10.	政策科学研究部	(室長： 竹原 健二)	191
11.	再生医療センター	(センター長： 梅澤 明弘)	217
12.	エコチル調査研究部	(部長： 大矢 幸弘)	235
13.	実験動物管理室	(室長： 津村 秀樹)	243
14.	移植免疫研究室	(室長： 梨井 康)	253
15.	マスキリーニング研究室	(室長： 但馬 剛)	263
16.	小児慢性特定疾病情報室	(室長： 盛一 享徳)	281
17.	高度先進医療研究室	(室長： 今留 謙一)	287
18.	視覚科学研究室	(室長： 東 範行)	303
19.	好酸球性消化管疾患研究室	(室長： 野村伊知郎)	311

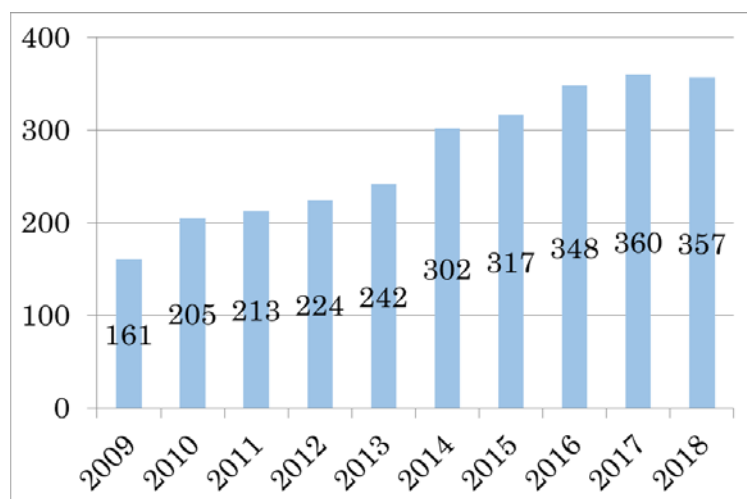
H29～H30 年 研究所概要

研究所長： 松原 洋一

1. 研究所ミッション

国立研究開発法人国立成育医療研究センターは、「受精・妊娠に始まって、胎児期、新生児期、小児期、思春期を経て次世代を育成する成人期へと至る、リプロダクションによってつながれたライフサイクルに生じる疾患(成育疾患)に対する研究と医療を推進する」ことを目的に、国立成育医療センターとして平成 14 年 3 月に設立された。その後、平成 22 年 4 月 1 日より独立行政法人国立成育医療研究センターとして発足し、平成 27 年度 4 月 1 日より、国立研究開発法人国立成育医療研究センターとして再発足した。しかし当センターの目的は組織形態が変わっても変わることはなく、この目的を達成するために、病院と研究所が密に連携して疾病に悩む方々や家族に対し、安全性と有効性を十分に検証しつつ高度先駆的医療の開発と提供を行ってきている。同時に小児救急医療、周産期医療を含めた成育医療全般に関して、チーム医療、包括的医療に配慮したモデルを確立し、これらを全国的に展開してきた。この中で研究所は成育医療に関連する疾患の原因の解明と治療法の開発、さらには早期発見・予防法の開発を目標に研究を進めていく。具体的には受精に始まる発生、分化の過程、身体及び臓器の発育と発達、精神及び社会性の発達等の機序を解明し、これらの過程の異常から生じる不妊、不育、先天異常、成長・発達障害等の問題を研究面から解決していくことを使命と考えている。

2. 研究業績

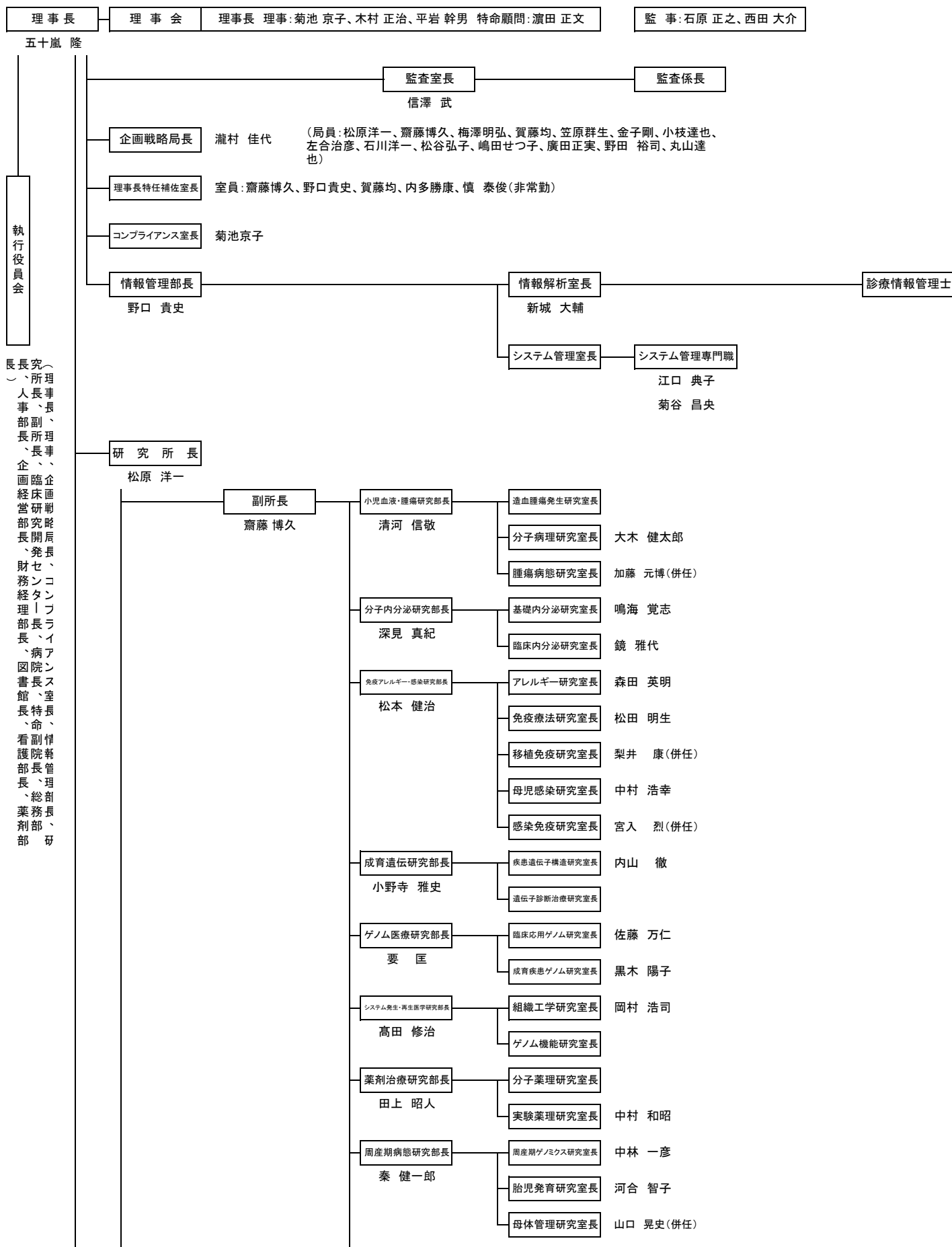


左図は、厚生労働省で実施されている独立行政法人通則法(平成 11 年法律第 103 号)第 35 条の 8 の規定に基づき準用する第 31 条第 1 項の規定に基づく国立研究開発法人国立成育医療研究センターの年度計画の評価委員会において使用が義務づけられている Web of Science データベースをもちいて、2009 年より 2018 年までの英文業績数(学会抄録と訂正文を除く)の推移をグラフ化したものである。

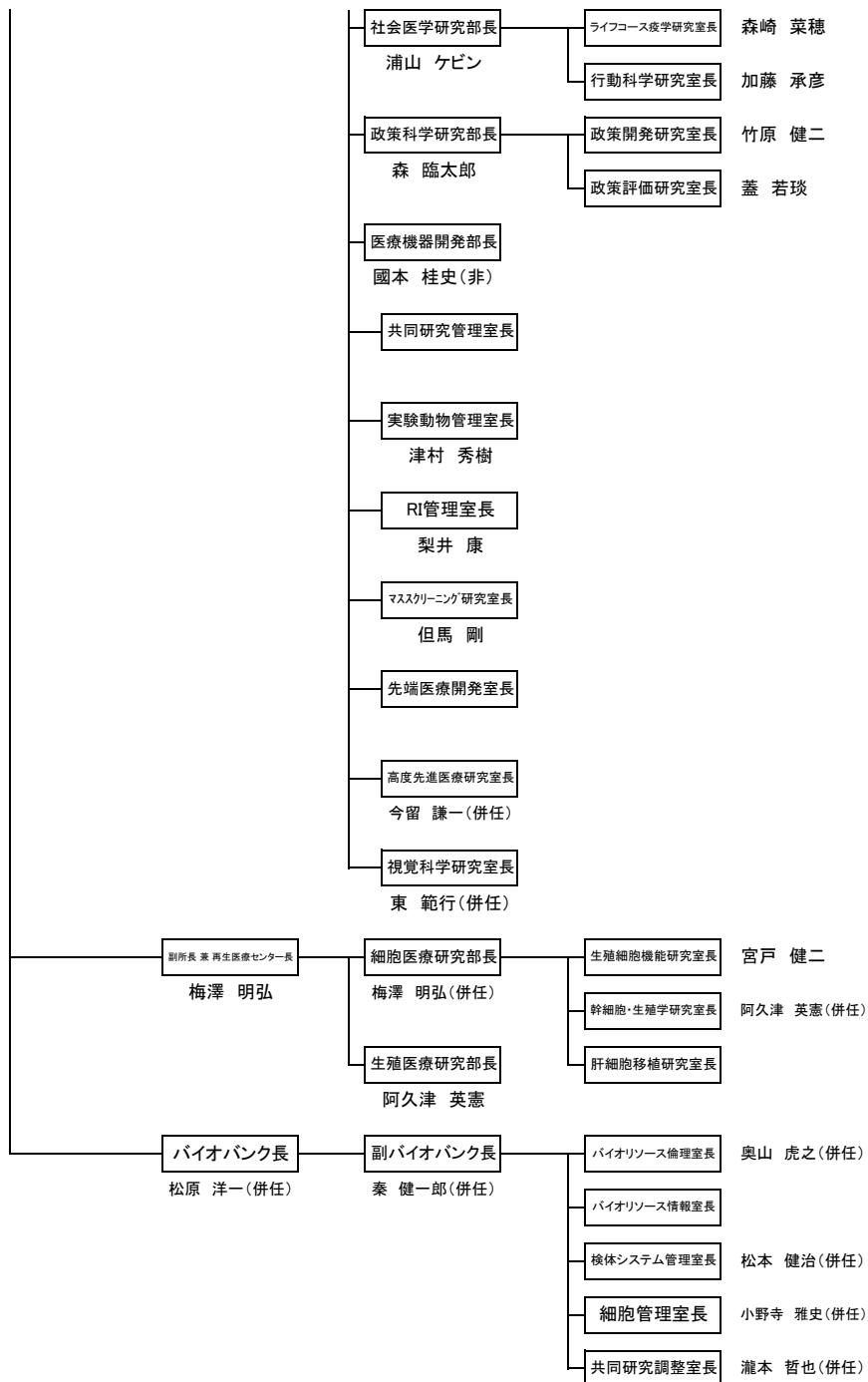
2009 年の 161 本から 190 本、212 本、222 本、257 本、305 本、336 本、355 本と論文発表数が独法化以来 10 年で 2 倍以上となった。なお、研究所と病院の共同研究成果が大半を占めるようになっていることもあり、研究所単独の論文数として切り分けて検索することはできない。しかし、被引用回数上位の論文のほとんどは研究所所属著者によるものであった(当日供覧)。

【組織図・人事異動】

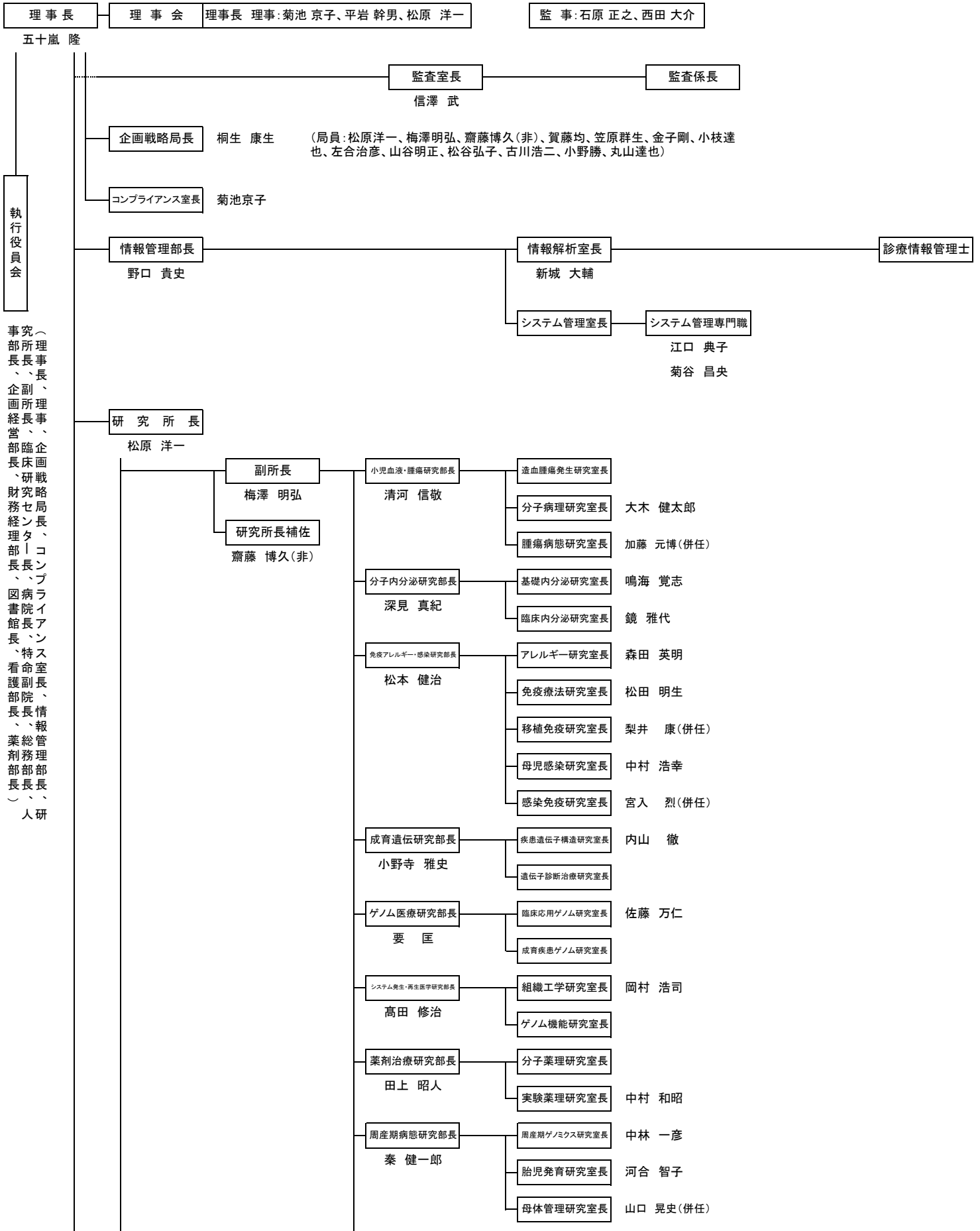
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図



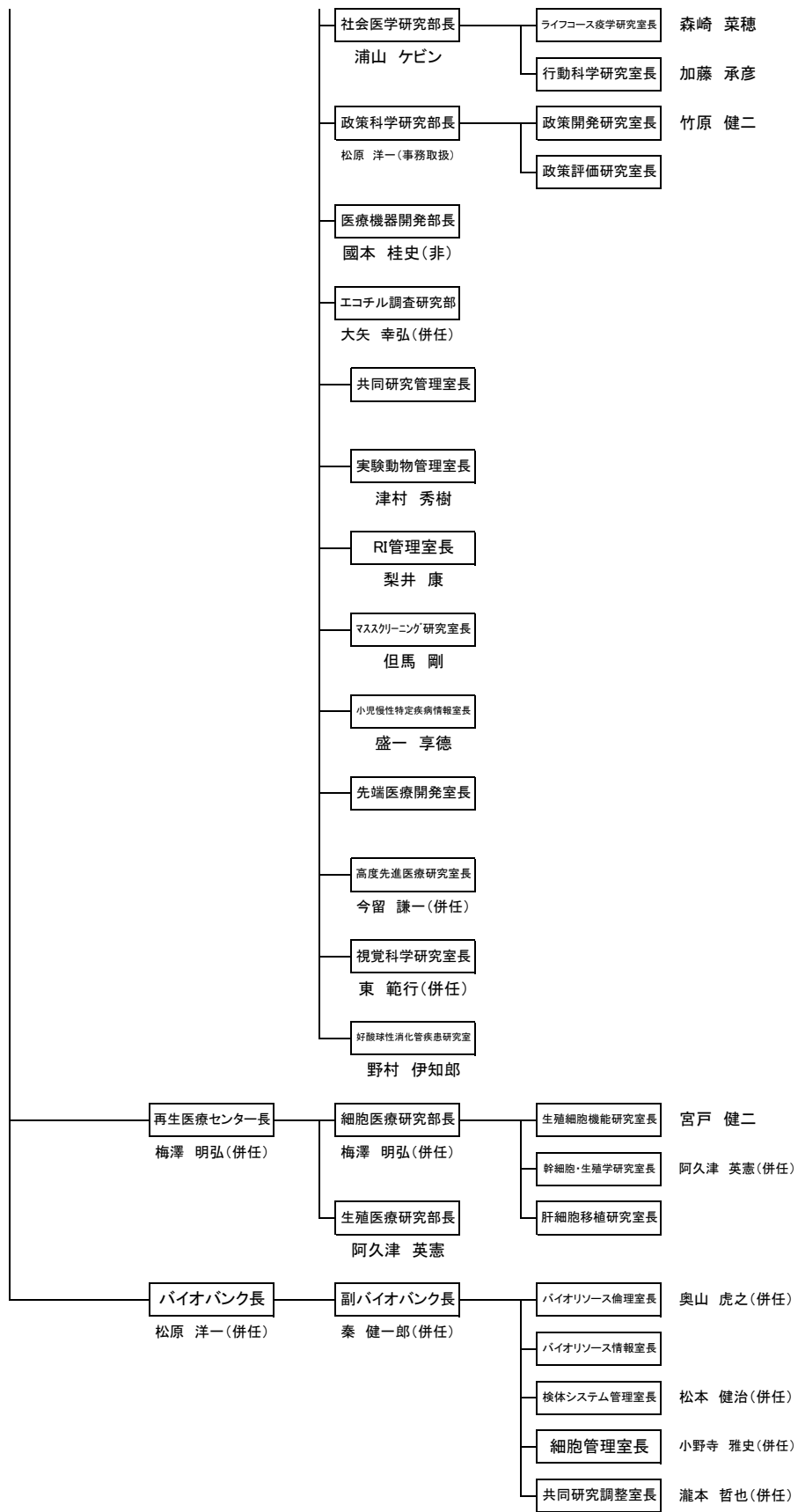
長(研究)所、理事、人事部長、副所長、企画、臨床研究部長、財務、コンプライアンス部長、図書館、特命、看護部長、総務部、薬剤部



国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図



研究(部長、副部長、企画部長、財務部長、経理部長、コンプライアンス部長、図書館長、特命室長、看護部長、情報管理部長、総務部長、人研)



人事異動（平成29年度・平成30年度）

○常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H29.3.31	任期満了	研究員	川本 恵	成育遺伝研究部
H29.3.31	任期満了	免疫療法研究室長	野村 伊知郎	免疫アレルギー・感染研究部免疫療法室
H29.4.1	再任用	政策科学研究部部長	森 臨太郎	政策科学研究部
H29.4.1	再任用	臨床内分泌研究室長	鏡 雅代	分子内分泌研究部臨床内分泌研究室長
H29.4.1	採用	免疫療法研究室長	松田 明生	免疫アレルギー・感染研究部免疫療法研究室
H29.4.1	配置換	研究員	盛一 享徳	研究員→上級研究員
H29.4.1	併任	高度感染症診断部長	今留 謙一	併任:高度先進医療研究室長
H29.4.1	併任	移植・細胞治療科医長	加藤 元博	併任:腫瘍病態研究室長
H29.7.1	採用	社会医学研究部部長	浦山 ケビン	社会医学研究部
H29.7.1	採用	臨床応用ゲノム研究室長	佐藤 万仁	ゲノム医療研究部
H29.12.31	任期満了	研究員	小泉 智恵	副所長室付
H30.3.1	再任用	疾患遺伝子構造研究室長	内山 徹	成育遺伝研究部疾患遺伝子構造研究室
H30.3.1	任命	生命倫理研究室長	掛江 直子	任命:小児慢性特定疾病情報室スーパーバイザー
H30.3.1	併任	小児慢性特定疾病情報室長	盛一 享徳	併任:研究所政策科学研究部上級研究員
H30.3.31	定年退職	副所長	齋藤 博久	副所長
H30.3.31	転出	成育疾患ゲノム研究室長	黒木 陽子	ゲノム医療研究部成育疾患ゲノム研究室
H30.3.31	任期満了	研究所長	松原 洋一	研究所
H30.7.5	併任解除	理事	松原 洋一	併任解除:図書館長
H30.10.1	採用	好酸球性消化管疾患研究室長	野村 伊知郎	好酸球性消化管疾患研究室
H30.11.25	辞職	政策科学研究部部長	森 臨太郎	政策科学研究部
H30.12.31	辞職	政策評価研究室長	GAI RUOYAN	政策科学研究部

○非常勤職員（研究員）

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H29.1.12	育児休業	研究員	Sara Sultana	小児血液・腫瘍研究部
H29.2.1	育休延長	研究員	原 まり子	再生医療センター細胞医療研究部
H29.2.22	辞職	上級研究員	福田 篤	細胞医療研究部
H29.3.1	採用	研究員	弓削 卓郎	再生医療センター生殖医療研究部
H29.3.31	辞職	研究員	菅原 かな	細胞医療研究部
H29.3.31	辞職	研究員	越智 真奈美	社会医学研究部
H29.3.31	辞職	研究員	Sara Sultana	小児血液・腫瘍研究部
H29.3.31	辞職	研究員	林 恵美子	成育遺伝研究部
H29.3.31	辞職	研究員	三浦 茜	成育遺伝研究部
H29.3.31	辞職	研究員	DA SILVA LOPES KATHARINA	政策科学研究部
H29.3.31	辞職	研究員	ダグワドルジ アマルジャルガル	政策科学研究部
H29.3.31	辞職	研究員	五十嵐 麻希	分子内分泌研究部
H29.3.31	辞職	研究員	中村 明枝	分子内分泌研究部
H29.3.31	辞職	研究員	二村 恭子	免疫アレルギー・感染研究部
H29.3.31	任期満了	研究員	中村 京子	細胞医療研究部
H29.4.1	育休延長	研究員	原 まり子	再生医療センター細胞医療研究部
H29.4.1	採用	研究員	湊川 真理	ゲノム医療研究部
H29.4.1	採用	研究員	林 恵美子	成育遺伝研究部
H29.4.1	採用	研究員	三浦 茜	成育遺伝研究部
H29.4.1	採用	研究員	石川 百合子	高度先進医療研究室
H29.4.1	採用	研究員	宮本 義孝	再生医療センター細胞医療研究部
H29.4.1	採用	研究員	田中 久子	社会医学研究部
H29.4.1	採用	研究員	渡部 悟	小児血液・腫瘍研究部
H29.4.1	採用	上級研究員	野村 伊知郎	免疫アレルギー・感染研究部
H29.4.15	育休復帰	研究員	原 まり子	細胞医療研究部
H29.4.16	採用	研究員	Palaksha K Javaregowda	細胞医療研究部

人事異動（平成29年度・平成30年度）

○非常勤職員（研究員）

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H29.4.16	採用	治験協力者	三浦 愛	バイオバンク バイオリソース倫理室
H29.5.16	採用	研究員	菅原 亨	細胞医療研究部
H29.5.16	採用	研究員	Chibueze Chioma Ezinne	政策科学研究部
H29.5.31	辞職	研究員	高橋 シラット	成育遺伝研究部
H29.6.1	配置換	研究員	宮本 義孝	研究員→上級研究員
H29.6.16	採用	研究員	胡 鑫	RI管理室
H29.6.30	辞職	治験協力者	齋藤 佳代子	細胞医療研究部
H29.7.1	採用	研究員	瓜生 英尚	周産期病態研究部
H29.7.1	採用	研究員	須藤 茉衣子	政策科学研究部
H29.7.1	採用	治験協力者	坂本 美佳	周産期病態研究部
H29.7.1	配置換	研究員	宮戸 真美	分子内分泌研究部
H29.7.16	育児休業	研究員	三浦 茜	成育遺伝研究部
H29.8.31	辞職	研究員	川崎 麻紀	政策科学研究部
H29.9.1	配置換	研究員	松原 圭子	分子内分泌研究部
H29.9.10	辞職	研究員	大久保 祐輔	社会医学研究部
H29.9.15	辞職	研究員	胡 鑫	RI管理室
H29.10.1	採用	研究員	半谷 まゆみ	社会医学研究部
H29.10.16	採用	研究員	山本 依志子	政策科学研究部
H29.12.16	採用	研究員	鈴木 美奈	ゲノム医療研究部
H30.1.1	採用	研究員	Aurelie Piedvache	社会医学研究部
H30.1.1	採用	研究員	小島 一晃	周産期病態研究部
H30.1.1	採用	研究員	川崎 麻紀	政策科学研究部
H30.1.1	採用	研究員	栗山 幹浩	免疫アレルギー・感染研究部
H30.1.16	採用	研究員	永嶋 早織	免疫アレルギー・感染研究部
H30.2.1	採用	研究員	齋藤 佳代子	再生医療センター細胞医療研究部
H30.2.28	辞職	研究員	鈴木 美奈	ゲノム医療研究部
H30.3.31	辞職	研究員	西尾 佳明	RI管理室
H30.3.31	辞職	研究員	大石 芳江	細胞医療研究部
H30.3.31	辞職	研究員	山本 依志子	政策科学研究部
H30.3.31	辞職	研究員	許 懷哲	先端医療開発室
H30.3.31	辞職	研究員	湊川 真理	ゲノム医療研究部
H30.3.31	辞職	研究員	岡田 直子	免疫アレルギー・感染研究部
H30.3.31	辞職	研究員	林 恵美子	成育遺伝研究部
H30.3.31	辞職	研究員	弓削 卓郎	生殖医療研究部
H30.3.31	任期満了	研究員	佐々木 八十子	政策科学研究部
H30.3.31	任期満了	研究員	中山 早苗	細胞医療研究部
H30.4.1	採用	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター
H30.4.1	採用	研究員	緒方 広子	周産期病態研究部
H30.4.1	採用	研究員	岸本 洋子	周産期病態研究部
H30.4.1	採用	研究員	谷口 公介	周産期病態研究部
H30.4.1	採用	研究員	山本 依志子	政策科学研究部
H30.4.1	採用	上級研究員	齋藤 博久	研究所
H30.4.1	任命	上級研究員	齋藤 博久	任命: 研究所長補佐
H30.5.1	採用	研究員	Palaksha K Javaregowda	細胞医療研究部
H30.5.31	辞職	研究員	西田 俊彦	政策科学研究部
H30.5.31	辞職	研究員	須藤 茉衣子	政策科学研究部
H30.5.31	辞職	研究員	松田 剛	高度先進医療研究室
H30.5.31	辞職	研究員	北嶋 俊寛	再生医療センター細胞医療研究部
H30.6.1	採用	研究員	須藤 茉衣子	政策科学研究部
H30.6.30	辞職	研究員	進導 美幸	実験動物管理室
H30.6.30	辞職	研究員	Chibueze Chioma Ezinne	政策科学研究部
H30.7.1	配置換	研究員	菅原 亨	研究員 → 上級研究員

人事異動（平成29年度・平成30年度）

○非常勤職員（研究員）

発令 年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H30.7.1	採用	研究員	山本 真由	免疫アレルギー・感染研究部
H30.7.31	辞職	研究員	宮崎 セリーヌ	政策科学研究部
H30.8.1	採用	研究員	関 偉涛	RI管理室／免疫アレルギー・感染研究部移植免疫研究室
H30.9.16	採用	研究員	辻 麻理子	政策科学研究部
H30.9.30	辞職	上級研究員	野村 伊知郎	免疫アレルギー・感染研究部
H30.10.31	辞職	研究員	石川 百合子	高度先進医療研究室
H30.10.31	辞職	研究員	栗山 幹浩	免疫アレルギー・感染研究部
H30.10.31	辞職	研究員	鈴木 啓子	免疫アレルギー・感染研究部
H30.10.31	辞職	研究員	永嶋 早織	免疫アレルギー・感染研究部
H30.10.31	辞職	研究員	山本 真由	免疫アレルギー・感染研究部
H30.11.1	採用	研究員	石川 百合子	高度先進医療研究室
H30.11.1	採用	研究員	栗山 幹浩	再生医療センター細胞医療研究部
H30.11.30	辞職	研究員	齋藤 佳代子	再生医療センター細胞医療研究部
H30.11.30	辞職	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター
H30.12.1	採用	研究員	齋藤 佳代子	再生医療センター細胞医療研究部
H30.12.1	採用	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター細胞医療研究部
H30.12.1	採用	研究員	岡崎 有香	政策科学研究部
H30.12.31	辞職	研究員	瓜生 英尚	周産期病態研究部

【セミナー開催状況・
その他】

資料4 セミナー開催状況(平成29年・平成30年)

<定例セミナー>

1. 日時:平成29年1月18日(水)

演者1: 但馬 剛 (マススクリーニング研究室)

演題1: 脂肪酸代謝異常症の新生児スクリーニング: 乳幼児の急死を防ぐために

演者2: 中島 英規 (マススクリーニング研究室)

演題2: 質量分析装置を用いた新規マススクリーニング系の開発

2. 日時:平成29年2月21日(火)

演者1: 要 匡 (ゲノム医療研究部)

演題1: 未診断疾患へのアプローチ

演者2: 柳 久美子 (ゲノム医療研究部)

演題2: Long-PCR法を用いた遺伝子解析法の有用性

3. 日時:平成29年5月24日(水)

演者1: 鳴海 覚志 (分子内分泌研究部)

演題1: MIRAGE症候群の発見とその後の展開

演者2: 鏡 雅代 (分子内分泌研究部)

演題2: 14番染色体インプリンティング異常症の疾患概念の確立と発症機序

演者3: 深見 真紀 (分子内分泌研究部)

演題3: 染色体バリエーションと疾患

4. 日時:平成29年6月7日(水)

演者1: 森田 英明 (免疫アレルギー・感染研究部)

演題1: アレルギー疾患と自然リンパ球

演者2: 松田 明生 (免疫アレルギー・感染研究部)

演題2: 日本医療研究開発機構 (AMED) への2年間の出向を終えて

5. 日時:平成29年5月24日(水)

演者1: 清河 信敬 (小児血液・腫瘍研究部)

演題1: 急性白血病の新規原因分子 EP300-ZNF384 の機能解析

演者2: 大木 健太郎 (小児血液・腫瘍研究部)

演題2: 急性リンパ芽球性白血病 (ALL) の新たな亜群を形成する MEF2D 関連融合遺伝子

6. 日時:平成29年7月5日(水)

演者: 宮本 幸 (薬剤治療研究部)

演題: グリア細胞研究の最前線

7. 日時:平成29年7月26日(水)

演者: Kevin Y. Urayama (社会医学研究部)

演題: 小児急性リンパ球性白血病発症に関連する遺伝学的素因と環境要因について

8. 日時:平成 29 年 9 月 13 日(水)

演者 1: 内山 徹 (成育遺伝研究部)

演題 1: 原発性免疫不全症への造血幹細胞遺伝子治療における遺伝子導入細胞の追跡

演者 2: 安田 徹 (成育遺伝研究部)

演題 2: 小児神経疾患ニーマンピック病 C 型の発症メカニズムに関する研究

9. 日時:平成 29 年 9 月 27 日(水)

演者 1: 岡村 浩司 (システム発生・再生医学研究部)

演題 1: ディープラーニングで自動的にデータベースを構築する～ディープラーニングの可能性と限界

演者 2: 高田 修治 (システム発生・再生医学研究部)

演題 2: ゲノム編集で疾患の原因変異をマウスゲノムに再現する～ゲノムの隠し事をゲノムに書く仕事

10. 日時:平成 29 年 11 月 1 日(水)

演者: 梶原 一紘 (再生医療センター細胞医療研究部)

演題: 羊水細胞由来 iPS 細胞の胎児治療への応用

11. 日時:平成 29 年 11 月 8 日(水)

演者: 佐々木 八十子 (政策科学研究部)

演題: 新生児医療の質向上を目指した組織評価

12. 日時:平成 29 年 12 月 18 日(月)

演者 1: 磯 まなみ (ゲノム医療研究部)

演題 1: 本邦の特発性膵炎患児における CFTR 遺伝子バリエーション

演者 2: 佐藤 万仁 (ゲノム医療研究部)

演題 2: 第 3 世代 DNA シーケンサーのゲノム医療への応用

13. 日時:平成 30 年 1 月 22 日(月)

演者 1: 高橋 健 (周産期病態研究部)

演題 1: 大量塩基配列情報を用いた母体血中遊離核酸による胎児の疾患関連ハプロタイプの同定と臨床応用～RHD 不適合妊娠の出生前診断をモデルとして～

演者 2: 大西 英理子 (周産期病態研究部)

演題 2: 周産期の転帰を予測するバイオマーカーとしての羊水のマイクロバイームプロファイル

15. 日時:平成 30 年 1 月 31 日(水)

演者: 津村 秀樹 (実験動物管理室)

演題: ASCT2(Slc1a5)欠損マウスでの破骨細胞分化能について

16. 日時:平成 30 年 2 月 21 日(水)

演者 1: 瓜生 英尚 (周産期病態研究部)

演題 1: 機械学習法の基礎研究への応用 (クロマチン高次構造の予測の試み)

演者 2: 大西 英理子 (周産期病態研究部)

演題 2: 周産期の転帰を予測するバイオマーカーとしての羊水のマイクロバイオームプロファイル

17. 日 時:平成 30 年 5 月 30 日(水)

演者 1: 鳴海 覚志 (分子内分泌研究部)

演題 1: 育児ビッグデータ解析研究

演者 2: 五十嵐 麻希 (分子内分泌研究部)

演題 2: 46, XX 精巢性分化疾患の新たな発症責任遺伝子の発見

演者 3: 松原 圭子 (分子内分泌研究部)

演題 3: 臍帯血・胎盤における 5mC/5hmC 分布の特徴

18. 日 時:平成 30 年 6 月 14 日(木)

演 者: 松本 健治 (免疫アレルギー・感染研究部)

演 題: 進化からみたアレルギーの意義

19. 日 時:平成 30 年 7 月 5 日(水)

演 者: 中村 和昭 (薬剤治療研究部)

演 題: バソプレシン V1 受容体欠損マウスによるバソプレシン作用へのアプローチ

20. 日 時:平成 30 年 7 月 27 日(水)

演者 1: 三瓶 舞紀子 (社会医学研究部)

演題 1: 市区町村事業における乳児用事故防止チェックリスト配布と親のリスク行動との関連

演者 2: 加藤 承彦 (社会医学研究部)

演題 2: 三歳以上で保育園・幼稚園に入園していない子どもの社会・身体的背景要因の分析

演者 3: 森崎 菜穂 (社会医学研究部)

演題 3: 日本人の平均身長低下: その原因と影響

21. 日 時:平成 30 年 8 月 22 日(水)

演 者: 加藤 元博 (小児血液・腫瘍研究部)

演 題: 小児血液・腫瘍疾患の“outlier”に注目した病態解析

22. 日 時:平成 30 年 9 月 13 日(水)

演 者: 内山 徹 (成育遺伝研究部)

演 題: 原発性免疫不全症に対する遺伝子治療

～日本における遺伝子治療患者の解析と今後の展望～

23. 日 時:平成 30 年 9 月 28 日(金)

演者 1: 片桐 沙紀 (システム発生・再生医学研究部)

演題 1: 細胞のリプログラミングを利用した MMP 遺伝子発現制御の理解

演者 2: 小川湧也 (システム発生・再生医学研究部)

演題 2: ゲノム編集による性分化疾患責任配列の 1 塩基レベルマッピング

24. 日 時:平成 30 年 10 月 11 日(木)

演 者: 梅澤 明弘 (再生医療センター)

演 題: ES 細胞由来再生医療等製品 (HAES) の現在と将来

25. 日 時:平成 31 年 1 月 10 日(木)

演 者: 梨井 康 (R I 管理室/移植免疫研究室)

演 題: 移植後免疫寛容の誘導・維持のための樹状細胞 (DC) 制御法の開発

26. 日 時:平成 31 年 1 月 22 日(木)

演 者: 但馬 剛 (マスキリーニング研究室)

演 題: カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-2 欠損症の新生児マスキリーニング
: 全国実施実現の経緯と今後の課題

<特別セミナー>

1. 日 時:平成 29 年 3 月 13 日(月)

演 者: 山村 研一 先生

熊本大学 生命資源・研究センター 山村プロジェクト研究室 シニア教授

演 題: マウスを用いたヒト疾患遺伝学の展開

2. 日 時:平成 29 年 3 月 29 日(水)

演 者: 須山 幹太 教授

九州大学・生体防御医学研究所・生体多階層 システム研究センター

演 題: 拡張エクソーム解析による制御配列変異の検出

3. 日 時:平成 29 年 3 月 29 日(水)

演 者: 佐藤 哲也 助教

九州大学・生体防御医学研究所・生体多階層 システム研究センター

演 題: 一塩基多型の影響を受ける RNA スプライシング

4. 日 時:平成 29 年 5 月 23 日(火)

演 者: 渡士 幸一 先生

国立感染症研究所ウイルス第二部

演 題: 生理活性化合物を利用した肝炎ウイルス生活環の解析

5. 日 時:平成 29 年 7 月 4 日(火)

演 者: 黒岩 麻里先生

北海道大学 大学院理学研究院・教授

- 演 題: Y 染色体を失った哺乳類の性決定メカニズム
6. 日 時:平成 29 年 7 月 21 日(金)
演 者: 小島 伸彦 先生
横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 准教授
演 題: 微細構造を内包した三次元スフェロイドの作り方
7. 日 時:平成 29 年 8 月 16 日(水)
演 者: 紙谷 聡英 先生
東海大学・医学部・分子生命科学 准教授
演 題: ヒト多能性幹細胞を用いた肝臓疾患の新規治療・解析系の構築
8. 日 時:平成 29 年 8 月 23 日(水)
演 者: 矢澤 隆志 先生
旭川医科大学学生化学講座 講師
演 題: 幹細胞からのステロイドホルモン産生細胞の分化誘導とホルモン産生メカニズムの解析
9. 日 時:平成 29 年 8 月 24 日(木)
演 者: 大塚 正人 先生
東海大学医学部基礎医学系
演 題: 新規ゲノム編集マウス作製法: Easi-CRISPR と GONAD
10. 日 時:平成 29 年 9 月 25 日(月)
演 者: 今西 規 先生
東海大学医学部基礎医学系分子生命科学 情報生物医学研究室・教授
演 題: 個人ゲノム情報を使った疾患リスク予測の現状と課題
11. 日 時:平成 29 年 10 月 6 日(金)
演 者: 河村 和弘 先生
聖マリアンナ医科大学 生殖医療センター長
演 題: 早発卵巣不全に対する新規不妊治療法の開発
12. 日 時:平成 29 年 11 月 22 日(水)
演 者: 小島 要 先生
東北大学東北メディカル・メガバンク機構 講師
演 題: ゲノム情報解析の現状と深層学習による医用画像解析について
13. 日 時:平成 29 年 11 月 24 日(金)
演 者: 西村 幸男 先生
東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究分野 脳機能再建プロジェクトリーダー
演 題: 人工神経接続による脳機能再建

14. 日 時:平成 29 年 11 月 24 日(金)
演 者: 岡部 尚文 上席執行役員
中外製薬株式会社 研究本部、トランスレーショナルクリニカルリサーチ本部
演 題: 抗体医薬品の創薬
15. 日 時:平成 29 年 12 月 1 日(金)
演 者: 泉 幸佑 先生
ペンシルバニア大学医学部小児科遺伝部門
演 題: 臨床症状から紐解く先天異常症候群の分子病態
16. 日 時:平成 30 年 3 月 20 日(火)
演 者: 薬師寺 那由他 先生
スイス連邦工科大学ローザンヌ校・研究員
Laboratory of Developmental Genomics, School of Life Science, Federal Institute of Technology,
演 題: 四肢形成過程における *HoxD* 遺伝子群の制御機構
17. 日 時:平成 30 年 4 月 26 日(木)
演 者: 神崎 誠一 先生
文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 専門職
演 題: ヒト胚・幹細胞研究に関連する倫理指針のポイント
18. 日 時:平成 30 年 4 月 27 日(金)
演 者: 赤池 敏宏 先生 (東京工業大学名誉教授)・後藤 光昭 先生
公益財団法人 国際科学振興財団 再生医工学バイオマテリアル研究所
演 題: 細胞認識性バイオマテリアル設計と再生医療の革新
—カドヘリンマトリックス工学材料と糖鎖マトリックス工学材料への期待—
19. 日 時:平成 30 年 7 月 6 日(金)
演 者: 伊藤 道彦 先生 北里大学・理学部
演 題: 脊椎動物の性決定システムの進化と可塑性
～性デフォルト vs 性決定遺伝子～
20. 日 時:平成 30 年 8 月 3 日(金)
演 者: 辻村 太郎 先生
慶應義塾大学 医学部・iPS 細胞エピジェネティクス研究医学寄付講座 特任助教
演 題: クロマチンの基本高次構造が織りなす多様な遺伝子転写制御機構
21. 日 時:平成 30 年 8 月 7 日(火)
演 者: 岡田 尚巳先生
日本医科大学 生化学・分子生物学 (分子遺伝学) 大学院教授

演 題: AAV ベクター基盤技術開発と筋ジストロフィーに対する遺伝子細胞治療

22. 日 時:平成 30 年 9 月 18 日(火)

演 者: 宮川 信一 先生

東京理科大学 基礎工学部 生物工学科・准教授

演 題: 温度環境に依存する爬虫類の性決定メカニズム

23. 日 時:平成 30 年 10 月 5 日(金)

演 者: 演 者: 小澤 敬也 先生

自治医科大学 名誉教授/客員教授

免疫遺伝視細胞治療学(タカラバイオ)講座 責任者

演 題: 遺伝子治療の実用化時代の到来: CAR-T 細胞療法を中心に

24. 日 時:平成 30 年 10 月 23 日(火)

演 者: 馬場 崇 先生

九州大学大学院医学研究院 分子生命科学系部門 性差生物学講座 准教授

演 題: 転写因子 Ad4BP の機能の全貌解明を通じた生殖腺の性分化メカニズムの解明

25. 日 時:平成 30 年 11 月 5 日(月)

演 者: 神崎 誠一 専門職

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室

演 題: ヒト胚・幹細胞研究に関連する倫理指針について～E S 指針の改正を中心に～

26. 日 時:平成 30 年 11 月 9 日(金)

演 者: 井家 益和 様

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 執行役員 研究開発本部長/研究開発部長

演 題: 再生医療産業の展望 ～ 自家から同種へ、成人から小児へ ～

27. 日 時:平成 30 年 12 月 5 日(水)

演 者: 鈴木 雅子 先生

アルバートアインシュタイン医科大学遺伝学部

演 題: 子宮内環境が胎児の細胞運命決定に与える影響とその将来の疾患リスクとの関係

28. 日 時:平成 30 年 12 月 20 日(木)

演 者: 斎藤 益満 先生

国立感染症研究所 血液・安全性研究部

演 題: 次世代 HTLV-1 クロナリティ解析法の開発とその応用に向けて

<研究発表会・学生の部 / 研究員の部>

次頁

<研究発表会の概要>

2017.11.22

<学生の部> 16:30~17:10

1. 半谷 まゆみ(社会医学研究部)
小児白血病の発症リスクと治療反応性に関するゲノムワイド関連解析
2. 溜 雅人(免疫アレルギー・感染研究部)
経皮膚感作に最適なマウス週齢の検討
3. 加藤 紀子(周産期病態研究部)
ヒト子宮内膜間質細胞の脱落膜化エピゲノム動態
4. 池原 甫(細胞医療研究部)
Gorlin 症候群患者由来 iPSC 細胞を用いた薬剤スクリーニング系の確立
5. 渡辺 摩周(成育遺伝研究部/マススクリーニング研究部)
オリゴ糖基質を用いた新規ムコ多糖症マススクリーニング系の開発
6. 井上 桃子(細胞医療研究部)
Spontaneous trisomy rescue

<研究員の部> 17:10~18:00

1. 安田 徹(成育遺伝研究部)
小児神経変性疾患ニーマンピック病 C 型の発症メカニズムに関する研究
2. 五十嵐 麻希(分子内分泌研究部)
性がゆらぐ遺伝子変異の発見
3. 原 聡史(システム発生・再生医学研究部)
ヒト配列置換マウスを用いた IG-DMR におけるインプリント制御機構の解析
4. 康 宇鎮(細胞医療研究部)
カルシウム波による生体機能の調節機構
5. 李 少偉(RI 研究室)
Macrophage specific delivery of TNF-a siRNA complexed with Schizophyllan inhibits inflammation and fibrosis in a murine NASH model
6. 青砥 早希(メディカルゲノムセンター)
Noonan 症候群様症状を示す一卵性双生児の全ゲノム解析
7. 菅原 亨(再生医療センター)
ヒト多能性幹細胞特異的マイクロ RNA

<発表詳細>

日時:12月14日(木) 16:30-17:10(学生の部)、17:10-18:00(研究員の部)

場所:研究所 セミナールーム

発表形式:パワーポイントによるプレゼンテーション

発表時間:4分(時間厳守をお願いします)

質疑応答:2分

スライド:タイトル1枚、内容4枚以下、まとめ1枚(クリスマスらしい雰囲気のスライド、大歓迎!!)

<審査員>

学生の部:研究員、部室長

研究員の部:部室長

<優秀演題賞>

学生の部、研究員の部、それぞれ1名選出し、クリスマス会で発表いたします。

<運営に際して>

各部の研究員の方に、座長・会場設営等でお手伝いいただきたいと考えております。

ご協力のほどよろしくお願いします。

セミナー・庶務係

中林・森崎・森田

<研究発表会の概要>

2018.12.13

<学生の部> 16:00~16:40 (座長: 上野瞳 / 宮戸真美)

1. 上村 桂志朗 (システム発生・再生医学研究部) **【学生の部 優秀演題賞】**
演題: 卵巣でのマウス Rspo1 発現制御領域の探索
2. 中尾 佳奈子 (分子内分泌研究部)
演題: MIRAGE 症候群における経時的な遺伝学的評価の意義
3. 片桐 沙弥 (システム発生・再生医学研究部)
演題: 深層学習および線形分類を利用したトランススプライシングに関わる塩基配列の探索
4. 茂木 成美 (政策科学研究部)
演題: ダウン症候群と高齢化に関する福祉的諸問題の解決に向けて

<研究員の部> 16:45~17:25 (座長: 宮本義孝 / 森田英明)

1. 劉 馳 (RI 管理室・移植免疫研究室)
演題: Combination of 5-aminolaevulinic acid and iron prevents skin fibrosis in murine sclerodermatous graft-versus-host disease
2. 辻本 信一 (小児血液腫瘍研究部)
演題: 急性前骨髄球性白血病における新規 RARB 遺伝子関連融合遺伝子の分子遺伝学的解析
3. 廖 華南 (免疫アレルギー・感染研究部)
演題: 風疹ウイルスはヒト神経系細胞に感染し、自然免疫応答を誘導する
4. 石川 百合子 (高度先進医療研究部) **【研究員の部 優秀演題賞】**
演題: 難治性 EB ウイルス感染症における MAIT 細胞の役割の解析

<発表詳細>

- ・日時: 12月13日(木) 16:00-16:40(学生の部)、16:45-17:25(研究員の部)
- ・場所: 研究所 セミナールーム
- ・発表形式: パワーポイントによるプレゼンテーション
- ・発表時間: 6分(時間厳守でお願いします)
- ・質疑応答: 3分

<審査員>

- ・学生の部: 研究員
- ・研究員の部: 部室長

<優秀演題賞>

学生の部、研究員の部、それぞれ1名選出し、クリスマス会で発表いたします。

セミナー・庶務係
中林・森崎・森田